例文２

終末期の医療・ケアについての意思表明書

（リビング・ウィル）

私はこれまでの人生を、私なりに一生懸命生きてきました。
ですから、私の人生が終わるとしても、決して悔いはありません。
私が終末期となり、意識を失うような状態におちいったり、 あるいは、たとえ呼びかけには応じても意識は朦朧としている状態になったときには、以下のようにしてください。
もし、私が自分の力で呼吸ができなくなったら、人工呼吸器をつけないでください。
状況により人工呼吸器がつけられ、これで呼吸をしている場合、人工呼吸器をつけてから四八時間たっても、私の自発呼吸が戻らなかったら、人工呼吸器を外してください。
たとえ、自発呼吸がある場合でも、もし意識を失ったり朦朧となってから四八時間たっても、意識が戻らなかったり朦朧状態が続いていたら、点滴も栄養補給もやめてください。
もし、私の意識状態に明らかな回復徴候がみられる場合には、さらに二四時間待っていただき、その時点で、私の意識が戻っていなかったり、朦朧状態が続いていたら、点滴も栄養補給もやめてください。
意識の判定は、厳密にしていただく必要はありません。呼びかけても声を出して答えなくなったら意識はなくなっていると判断してください。
また、点滴と栄養補給をやめた後、私が自分の力で飲み食いできる状態にないのなら、無理に飲ませたり食べさせたりしないでください。
ましてや、鼻管を入れたり、胃?を作ったりは、絶対しないでください。
そうなったら、昇圧薬も輸血も人工透析も血漿交換などもやめてください。
もし、私が苦しがっているようであり、その状態を緩和していただける治療をしてくださるなら、喜んでお受けします。ただし、昇圧薬や脳圧低下薬などの延命のための治療はやめてください。
私の命を長らえるために努力をしてくださっている、お医者さん、看護師さんや医療スタッフの方達にも、心から感謝しています。努力してくださっている方達には、たいへん申し訳ありませんが、どうか、私の意思を尊重して下さい。
私はこの終末期医療についての私の意思表明書を、意識も清明で、書いている内容を十分理解している状態で書いています。どうか、私の意思を尊重してください。

平成　　年　　月　　日
　住所
　　本人署名（自筆）　　（　　歳）〔印〕
　　家族・証人署名（自筆）

以上の意思表明書に変わりはないことを認めます。
平成　　年　　月　　日　本人署名（自筆）　　（　　歳）〔印〕
平成　　年　　月　　日　本人署名（自筆）　　（　　歳）〔印〕
平成　　年　　月　　日　本人署名（自筆）　　（　　歳）〔印〕
平成　　年　　月　　日　本人署名（自筆）　　（　　歳）〔印〕

※　大野 竜三（おおの りゅうぞう）リビング・ウィルとはＨＰより抜粋 http://square.umin.ac.jp/~liv-will/

例文１

終末期の医療・ケアについての意思表明書

（リビング・ウィル）

私が、高齢となり意識を失うような状態におちいったり、あるいは、たとえ呼びかけには応じても意識は朦朧としている状態になったり、あるいは、意識はあっても自分の意思を伝えることができない状態となり、自分で身の回りのことができなくなり、自分で飲むことも食べることもできなくなったときには、以下のようにしてください。

私が自分の力では水も飲めず、食べ物も食べられなくなったら、無理に飲ませたり、食べさせたり、点滴や栄養補給をしないでください。

ましてや、鼻管を入れたり、胃瘻を作ったりは、絶対しないでください。

私が自分の力で呼吸ができなくなっても、人工呼吸器をつけないでください。

万一、人工呼吸器がつけられている場合でも、一旦、電源を切っていただき、私の自発呼吸が戻らなかったら、人工呼吸器を取り外してください。

少々意識があっても、場所や日時をはっきり言うことができなければ、同じように扱ってください。

そうなったら、昇圧薬も輸血も人工透析も血漿交換などもやめてください。

私の苦しくみえる状態を緩和していただける治療をしてくださるなら、喜んでお受けします。

ただし、昇圧薬や脳圧低下薬などの延命のための治療はやめてください。

私の命を長らえるために努力をしてくださっている、お医者さん、看護師さんや医療・介護スタッフの方達には、心から感謝しています。努力してくださっている方達には、たいへん申し訳ありませんが、どうか、私の意思を尊重してください。

私はこの終末期の医療・ケアについての私の意思表明書を、意識も清明で、書いている内容を十分理解している状態で書いています。どうか、私の意思を尊重してください。

平成　年　月　日

　住所

　　本人署名（自筆）　　（　　歳）〔印〕